企画展

# 国芳 福まわし

## 故郷・日本橋で再発見



瓢箪から「福」

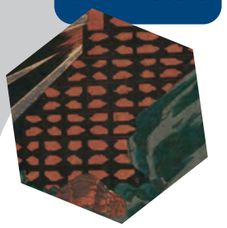
2026 10/30(金) - 2027 1/31(日)

## 描かれた福アイテムを探してみよう！



「七福神岩戸の蔵開」

山積みの千両箱



金(小判)のなる木

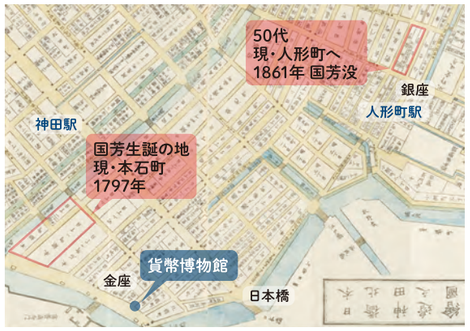


おめでたい柄の着物



おめでたい柄の着物






「日本橋北神田辺之絵図」(部分)

## 貨幣博物館がある日本橋と国芳の深い関わり

歌川国芳は日本橋(現・本石町)で生まれ育ち、
その最期は日本橋(現・人形町)で終えました。
日本橋や隅田川東側など
江戸各所でその生涯を過ごしたことは、
彼の独創的でエネルギーに満ちた
創作活動に影響を与えました。






# 貨幣博物館

日本銀行金融研究所 ○ CURRENCY MUSEUM

開館時間 ❖
9:30〜16:30(最終入館16:00まで)
会期中の休館日 ❖
月曜日、年末年始(12/28(月)〜1/4(月))
ただし11/2(月)、23(月)、2027/1/11(月)は開館

〒103-0021
東京都中央区日本橋本石町1-3-1 (日本銀行分館内)
https://www.imes.boj.or.jp/cm/

ギャラリートーク開催!!

最新の開館日開館時間

最新のイベント情報

11/15(日) 詳細はイベント情報をご覧ください

[地下鉄]半蔵門線 三越前駅(B1出口)から徒歩1分／銀座線 三越前駅(A5出口)から徒歩2分／東西線 日本橋駅(A4出口)から徒歩6分
[JR] 東京駅日本橋口から徒歩8分／神田駅南口から徒歩9分


# 貨幣博物館

日本銀行金融研究所 ○ CURRENCY MUSEUM


入館無料

土日も開館

# 国芳あそび

福

故郷・日本橋で再発見

日本橋（現・本石町）に生まれ、晩年も日本橋（現・人形町）で過ごしたとされる奇才・歌川国芳。その日本橋にある貨幣博物館にて、かつてない視点の国芳展を開催します。本展の主役は、美術作品としてではなく、お金やお金にまつわるアイテムの在り方を伝える「民俗資料」として収集された銭幣館コレクション中の浮世絵です。画面を彩る千両箱、小判、そして福の神や福を呼ぶ縁起物の数々。それらは単なる絵画のモチーフではなく、当時の人々が注いだ富への願いや、活気あふれる社会の様子を今に伝える貴重な記録でもあります。

## 銭幣館コレクションの国芳



「弁才天と吉祥盆栽」
江戸後期



銭幣館主が模刻・改変した国芳作品
昭和前期

お金が描かれた錦絵を収集した銭幣館主田中氏は、その中から１枚を模刻し、年賀状代わりに配った時期がある。



松の木



金のなる木

著名な「源頼光公館土蜘作妖怪図」や「流行猫の戯」シリーズから、これまであまり紹介されてこなかったお金や福にまつわるアイテムがちりばめられた役者絵や福神絵まで、貨幣博物館所蔵の国芳の浮世絵、約50点をご紹介します。美術作品として鑑賞する国芳とは一味違った、江戸の暮らしが感じられる「福」アイテムでみる国芳作品。江戸経済の中心地・日本橋で、地元が生んだ絵師の筆致から、福に彩られた江戸の文化をご覧ください。

資料保護のため、会期中展示替えがあります。
（前期：10月30日～12月13日、後期：12月15日～1月31日）



「全盛黄金花」

## 物語の中の福アイテム



「流行猫の戯 かがみやな 草履恥の段」



「見立逢見のおかね 岩井半四郎」



「大師河原利裙櫛」より

## 福アイテム 大集合の福神絵



「ひめはじめ 宝のよめ入り」

## ちりばめられた福アイテム



「子寶遊」



「木曽街道六十九次之内
上尾 三浦の高雄」